

岐阜県家庭教育学級実践事例

学校行事参加型+講演会型+体験活動参加型(小学校)



中小の家庭教育学級

中小の家庭教育学級では、親子のコミュニケーションを図るために、1年生対象に「だっこ読書」「親子工作」「親子クッキング」などを行っている。また、中小では、毎年「中小フォーラム」を開催しており、授業参観や、公民館と連携した活動などを行っている。



開催時期の変更

昨年度の家庭教育学級では、親子工作を行ったが、親子工作を夏休みに移行し、今年度は、講師の方を招いて親子で体験的な活動ができるエジソンの会による「サイエンスショー」を計画した。



親も子も楽しむ

エジソンの会による「サイエンスショー」は、子どもも親も参加して、楽しく化学の不思議が学べたり、ワークショップで楽しいおもちゃが作れたりできる。

今回のサイエンスショーでは、子どもや親から驚きや感動の歓声があがり、親子ともども笑顔いっぱいの取組となった。

学 校 名 等	大野町立中小学校
実 施 日 時	令和6年11月30日(土)
会 場	中小学校(体育館)
参 加 人 数	小学校1年生全児童・保護者(23組)
学習課題(分野)	「楽しもう 親子時間」(家族の大切さ)
運営者の願い	専門的な講師を招いた体験的な活動を通して、楽しく化学の不思議を学んでほしい。また、親子で一緒に活動することを通して、親子のコミュニケーションを図り、親子で過ごす楽しさを感じ取ってもらいたい。

学 習 の 内 容

<取組方法・日程>

9:00~ 9:30 会場準備(家庭教育学級役員)

9:35~ 9:40 開会式

9:35~10:15 サイエンスショー「化学マジックの不思議の世界」

10:15~10:35 ものづくりワークショップ「スーパーボールでストロージャンプ」

10:35~10:40 閉会式

※会場は、エジソンの会の方と相談し、見やすいように半円の椅子配置となった。

※会の進行は、家庭教育学級委員長が行い、サイエンスショー、ものづくりワークショップは、エジソンの会が進めた。

<取組の様子>

○サイエンスショー

- ・空中で突然割れる風船 ・透明になる色水 ・空気砲
- ・針に押さえつけても割れない風船 ・吹き出す泡 など

- ・ ただ見るだけでなく、子どもや親の参加型のショーであったため、楽しく化学の不思議を体験することができた。
- ・ 子どもたちにとって、初めて見るものもあり、「えーなんて。」「すごい。」などの驚きや感動の声があった。また、保護者の方々からも同じような声があり、親子で楽しくサイエンスショーを見ることができた。

○ものづくりワークショップ

- ・スーパーボールでストロージャンプ

- ・ スーパーボールと竹串とストローを使って、ストローが高く飛び上がるおもちゃを作った。
- ・ 土曜日開催ということもあり、父親の参加も多く、ストローや竹串を切るなどを父親が行うなどの姿が見られた。そして、できたおもちゃでストローが高く飛び様子を見て親子で喜ぶ姿も見られた。



<アンケートより>

- ・ 家ではできないようなことを一緒に見たり、実際に体験できたりし、親子ともに楽しめました。参加型でとてもいい企画でした。
- ・ ワークショップの「スーパーボールでストロージャンプ」は、家に帰ってから親子、兄弟で楽しむことができました。
- ・ 子どもたちが、たくさん笑って喜んでいる姿が見られてとてもうれしかったです。